



扉【とびら】

宇部市立藤山中学校
5 月 号
2020. 5. 25 発行

『人生のストーリーを描き直してみる』

校長 海 頭 巖

4月17日（金）に発令された緊急事態宣言は、今日5月25日（月）をもって全国で解除されます。また藤山中学校も4月15日（水）以来の全校生徒の一斉登校となり、明るさや活気が感じられ、学校が息を吹き返したように思えます。しかし『これまでと同じ学校生活』というわけにはいきません。マスク着用・うがい・手洗い・換気・三密などに十分気をつけ、学校生活を送らなければなりません。そのためには『コロナと共に生活していく覚悟』を持たないといけません。感染拡大防止のために『一人ひとりが、今できることを共にやっていく』ことが大事になってきます。

学校再開にあたって、『明日の元気のための掲示板（52号）』に次の内容を書きました。

今だからこそ『原点回帰』を！

これは、「物事の出発点に帰ること。基本に戻ること。」といった意味です。「つまずいたり、挫折したりしたときに、初心や原点に戻ってもう一度自分自身を見つめ直してみるとき」などに使います。ただ単に「四月の新学期当所に気持ちをリセットしよう」と言っているのではありません。四月半ばからおよそ一ヶ月半の間、臨時休校という辛い期間を経験し、辛抱してきたからこそ、今、ここで『原点回帰』をすれば、再出発するために必要なこと、そしてまた新たなことが発見できると思うからです。また、藤中ブランドの『あいさつ・時間厳守・校内美化』も、『原点回帰』をすれば、より次元の高いものへと変容していくはずです。

このことをみんなで『意識して、感じて、考えて、行動』してもらいたいと思っています。

さて、「子どもは『大人の背中（親の背中）』を見て育つ」などによく言われます。確かに子どもは『大人の背中』をしっかり見ています。今だからこそそのことをより意識して、大人がシャキッとした姿を見せて生活しなければならないと思っています。全国の緊急事態宣言は解除されますが、命を守るために子どもの行動に制限を強いていく大人は多いと思います。でも一方で、大人の中には子ども以上にたかが緩み、利己的な行動をとる人も多いのでは…。そういう人には「大人の背中を子どもが見て育っているだけではなく、子どもの成長する姿を見て大人も頑張らなくては」と改めて思ってもらいたいものです。

三年生は、来春の受験・進路選択を控えているので、この臨時休校によって不安がより大きくなった生徒も多いのではないのでしょうか。そうならば『人生のストーリーをもう一度描き直してみる』というのはどうでしょうか。とりあえず卒業するまでどんなストーリーに仕立て、どんな結末にするのかを考えてみる。結末は全員がハッピーエンド。脚本（シナリオ）も主演も自分たち。もう「今からでは遅い！ピンチだ！！」などと弱音を吐かないことです。明るく前向きに考えていきましょう。『ピンチはチャンス』なのですから。

『先生』と『生徒』で『先生徒』。『生』を共通の言葉としています。今、ここを「共に『生』きている」のです。私はいつもこのことを強く意識しています。皆さんと先生方と一緒に『ホップ・ステップ・ジャンプ』で乗り切ろう。